

## 授業科目

## 解剖学実習II

【担当教員名】 西野 幾子、山口 康昭、山田 まりえ	対象学年	1	対象学科	理学・作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

## 【概要・一般目標 : G10】

人体組織、特に骨、軟骨、筋の微細構造を光学顕微鏡的に観察し、それらを理解する。

人体模型標本、関節機能模型、人体骨格標本などを用いて、人体、特に筋系、関節・靭帯系を理解する。

## 【学習目標・行動目標 : SBO】

- 骨・軟骨・筋・神経組織の構造を光学顕微鏡的に概説できる。
- 主な関節を構成する骨、それらに付随する靭帯を観察・スケッチし、それらの名称、簡単な機能を説明できる。
- 上肢・下肢の筋を観察・スケッチし、それらの名称と機能を説明できる。
- 体幹の筋を観察・スケッチし、それらの名称を説明できる。
- 系統解剖を見学し、人体の構造を3次元的に理解し、個々の身体の違いを実感する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	解剖学実習IIの概要とオリエンテーション		実習
2	組織学実習：顕微鏡を用いた骨・軟骨・筋・神経組織標本の観察とスケッチ	1	実習
3	組織学実習：顕微鏡を用いた骨・軟骨・筋・神経組織標本の観察とスケッチ	1	実習
4	組織学実習：顕微鏡を用いた骨・軟骨・筋・神経組織標本の観察とスケッチ	1	実習
5	関節学実習：各関節の関節模型・関節機能模型の観察とスケッチ	2	実習
6	関節学実習：各関節の関節模型・関節機能模型の観察とスケッチ	2	実習
7	関節学実習：各関節の関節模型・関節機能模型の観察とスケッチ	2	実習
8	筋学実習：上肢・下肢・体幹の筋の観察とスケッチ	3、4	実習
9	筋学実習：上肢・下肢・体幹の筋の観察とスケッチ	3、4	実習
10	筋学実習：上肢・下肢・体幹の筋の観察とスケッチ	3、4	実習
11	筋学実習：上肢・下肢・体幹の筋の観察とスケッチ	3、4	実習
12	筋学実習：上肢・下肢・体幹の筋の観察とスケッチ	3、4	実習
13	筋学実習：上肢・下肢・体幹の筋の観察とスケッチ	3、4	実習
14	人体解剖見学実習@新潟大学医学部	5	実習
15	人体解剖見学実習@新潟大学医学部	5	実習

【使用図書】	【書名】	【著者名】	【発行所】	【発行年・価格】他
教科書 (必ず購入する書籍)	プロメテウス解剖学アトラス 解剖 学総論 運動器系	監訳・坂井建雄、監訳・松村 譲児	医学書院	2007・12, 600円
参考書				
その他の資料	実習書の配布			

## 【評価方法】

実習態度、出席状況、スケッチブック、筆記試験の総合評価

## 【履修上の留意点】

実習室では白衣を着用すること。標本の数により全員が同じ順序で実習することは不可能なので、説明をよく聞くこと。  
スケッチブック（指定）と色鉛筆が必要。  
実習はやり直しができないので、欠席をしないこと。